



日本共産党 宮本徹 衆院議員

加計疑惑

安倍首相を連続追及



官邸の関与 不公平な選考過程 浮き彫りに

規制緩和により獣医学部新設の権利を手にしたのは、総理が「腹心の友」とよぶ加計幸太郎氏が理事長をつとめる加計学園だけでした。選定の過程で、「平成30年度開設に限る」などの条件が追加され、ライバル校であった京都産業大学は断念においこまれました。この過程に総理・官邸の関与があったのではないかとという重大な政治の私物化疑惑。宮本徹議員は「総理は岩盤規制に穴を開けたというが、加計学園しか通れない加計学園の形をした穴だ」、「国家戦略特区ではなく、『安倍とも』特区だ」と厳しく追及しました。

政府が平成30年度開設のスケジュールを今治市側とあらかじめ共有する一方で、内閣府は京都産業大学については「いつ開学したい」という意向もきいていないと答弁。選考過程がきわめて不公平だったことが浮き彫りになりました。また宮本議員の質問で、担当大臣が、平成30年度開設では加計学園以外は間に合わない、というパブリックコメントが寄せられていたことを認識しながら、「平成30年度開設に限る」という条件を加えたことも明らかにされました。文字通りの「加計ありき」です。

国民の注目のもと全国中継された衆院予算委員会閉会中審査（7月24日）。加計疑惑での首相追及は6月5日の衆院決算行政監視委員会に続くもの。今年に入ってから首相との直接論戦は6回となりました。

「NHKの夜7時のニュース冒頭で宮本さんと安倍首相の顔がドーンと並んでいてびっくりしました。引き続き鋭い追及に期待します」（寄せられた声）

疑惑隠し、民意に背向ける安倍内閣 解散・総選挙で国民に信を問え

くらし・福祉・子育て・教育… 文部科学省・厚生労働省へ予算要望

都議・市議団（東村山・東大和・武蔵村山・清瀬・東久留米）とともに

文部科学省には、少人数学級、エアコン設置・学校トイレの洋式化推進、特別支援学校の整備など10項目、厚生労働省には、学童クラブの待機児解消、軽度者の介護保険外しの中止、介護従事者の待遇改善、国有地を活用した特養ホームの整備、国民健康保険税の引き下げなど26項目の申し入れをおこないました。（8月23日）



◆切実な市民の声や自治体の実情をあげ予算を求める宮本議員ら



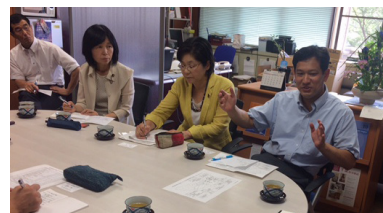
◆都議・市議団とともに文部科学省へ要請書を手渡す

非婚のひとり親への寡婦控除の みなし適用 来年度実現検討 **厚労省**

国が非婚のひとり親家庭に寡婦控除を適用しないなか、独自に保育料などについて非婚のひとり親にも寡婦控除のみなし適用をおこなう自治体が年々増えています。予算要望の中で厚生労働省は「年末の財源確保をふまえて必要な措置をとりたい」と表明しました。宮本徹議員は昨年国会質問で早期実現を求めていました。

周産期医療・小児医療など多摩地域4病院と 地域医療体制の拡充求め懇談

清瀬小児病院が廃止されて7年たちます。宮本徹議員は、尾崎あや子都議、原のり子都議、日本共産党市議会議員団とともに、多摩北部医療センター、公立昭和病院、災害医療センター、立川病院を訪問。かつて清瀬小児病院が果たしていた役割をカバーしきれていない現状を伝え、周産期医療、小児医療など地域医療体制の拡充にむけて、院長先生らと懇談をおこないました。



◆多摩北部医療センターで（8月7日）

多摩全生園医師不足問題 欠員になっていた副園長補充

この夏、欠員になっていた多摩全生園の副園長職について、新たな方が着任するといううれしいニュースがありました。宮本徹議員は2月の予算委員会で、多摩全生園などハンセン病療養所の医師不足の深刻な現状を指摘し、医師確保などを求め、塩崎厚生労働大臣も「医師確保に努力を重ねていきたい」と答弁していました。



◆公立昭和病院で（8月9日）